おごおり

第３８５号

日本郵趣協会　小郡支部　　第３２巻　第４号　２０２２．４．１

２　銭（乃木希典）　昭和１２・５・１２

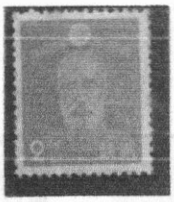
日露戦争の旅順攻略戦の勇将、乃木希典陸軍大将の肖像。

なお、小倉歩兵第１４聯隊長のとき。明治９年（１８７６）秋月の乱では、豊前豊津へ、明治１０年（１８７７）の西南の役では熊本へ出兵している。

この切手は凸版印刷で、輪転版と平面版とがある。１０年の長期間使用されたので、最後期には、糊なし・糊なし、目打ちなしがあり。１次、２次、３次に区別されているが、ここでは、一緒にまとめている。

昭和２２・８・３１使用禁止

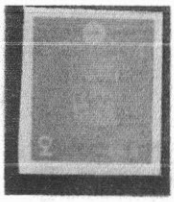
初期印刷



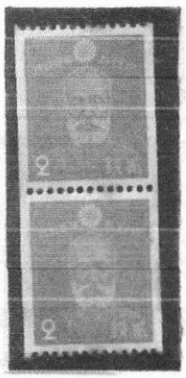
後期印刷

朱色

糊・目打なし



コイル切手



切手帳

コレクション拝見

乃 木 2 銭

中嶋克己

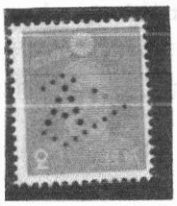
印字切手を予告していましたが、前に展示していましたので、急遽「乃木２銭」に変更しました。リーフ１枚１枚を手にして説明されました。

２　銭（乃木希典）

単片での分類 NO1

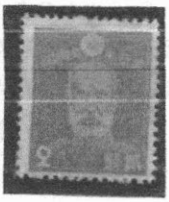
輪転版

印面１８、２×２２、３ミリ　目打１３×１３½

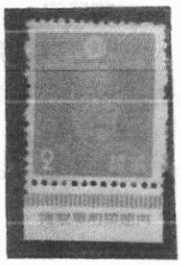


初期

中期



後期



平面版

正規糊　印面１８、２×２１、８ミリ　目打１３×１３½

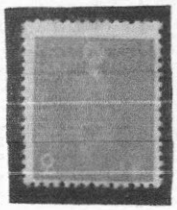
赤

うすい紅赤

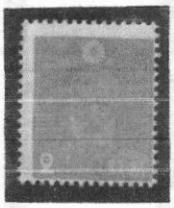
朱

朱赤

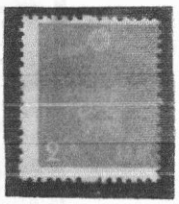
うす糊　目打１３×１３½



赤



うすい紅赤



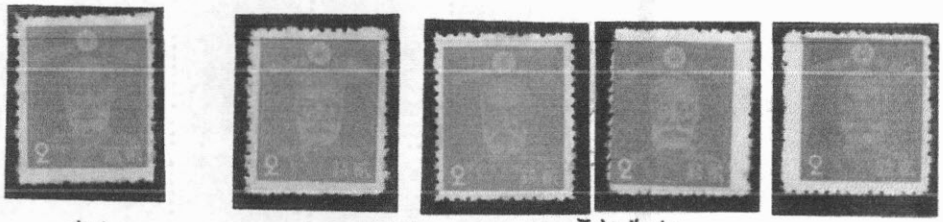
こい紅赤

２　銭（乃木希典）

単片での分類　NO2

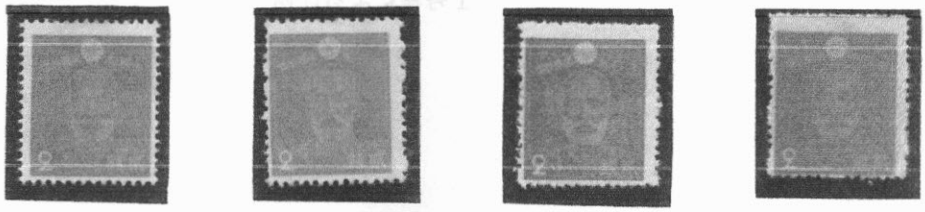
平面版

正規糊　目打１２



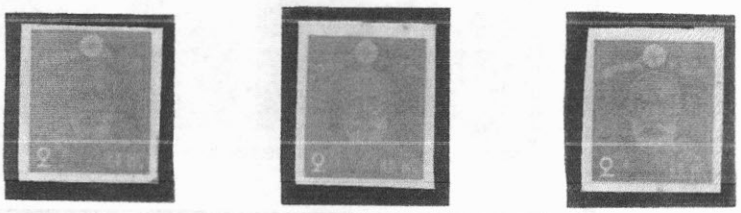
赤　　うすい紅赤　　こい朱赤

糊なし　目打１３×１３



赤　　うすい紅赤　　こい紅赤　　朱赤

糊・目打なし

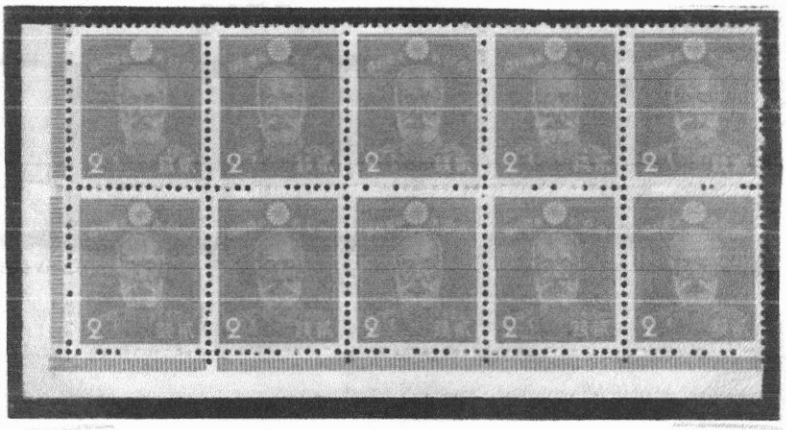


赤　　うすか紅赤　　こい紅赤

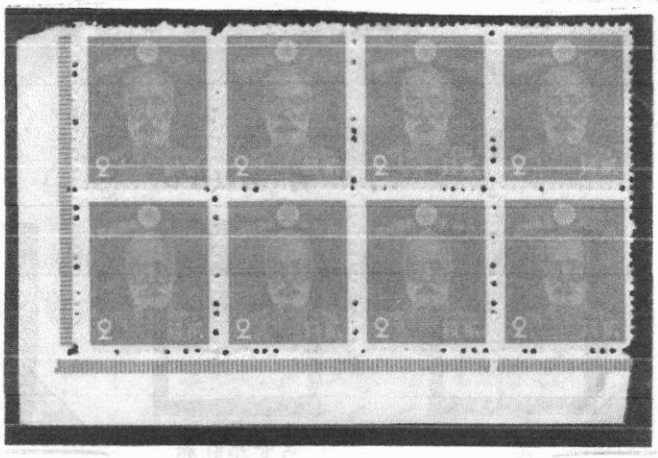
2　　銭（乃木希典）

輪　転　版　　コーナー

ゲーベル印刷機は４台あつて、最下段の霞斝の切れにより印刷機が判別できたが戦争激化により区別されなくなつた。



１号機による印刷

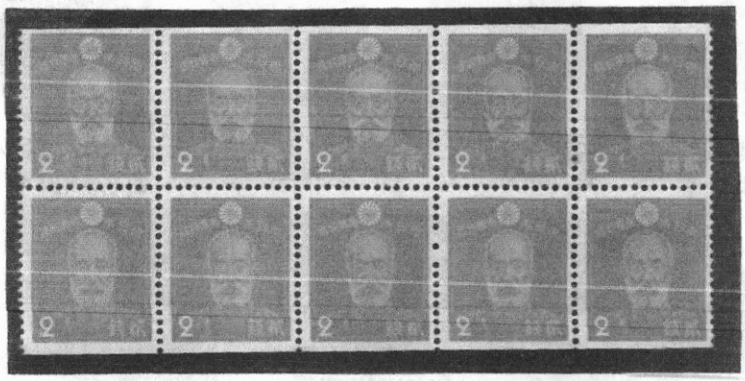


３号機による印刷

2　銭（乃木希典）

切　手　帖

昭和12・10・16



櫛　型　印

記号

機械印

標語入り

長崎丸

大連中央

2　銭（乃木希典）
機械消し標語印
郵　便　標　語

ぜひ／標札を／
掲げませう

宛所は／詳しく／
判りよく

転居の／知らせは／
先づ局へ

未納／不足は／
先の迷惑

大東京への／
通信は改正区／
町名番地にて

包装／しつかり／
宛所はつきり

小包に／手紙は／
禁物

速達で／内地は／
何処へでも

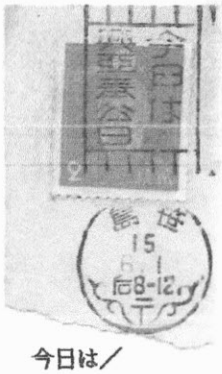
航空日本の／建設は／
愛国切手で

日時の入つた標語

十月一日／
国勢調査

八月一日／物の／
国勢調査

四月一日／
料金改正



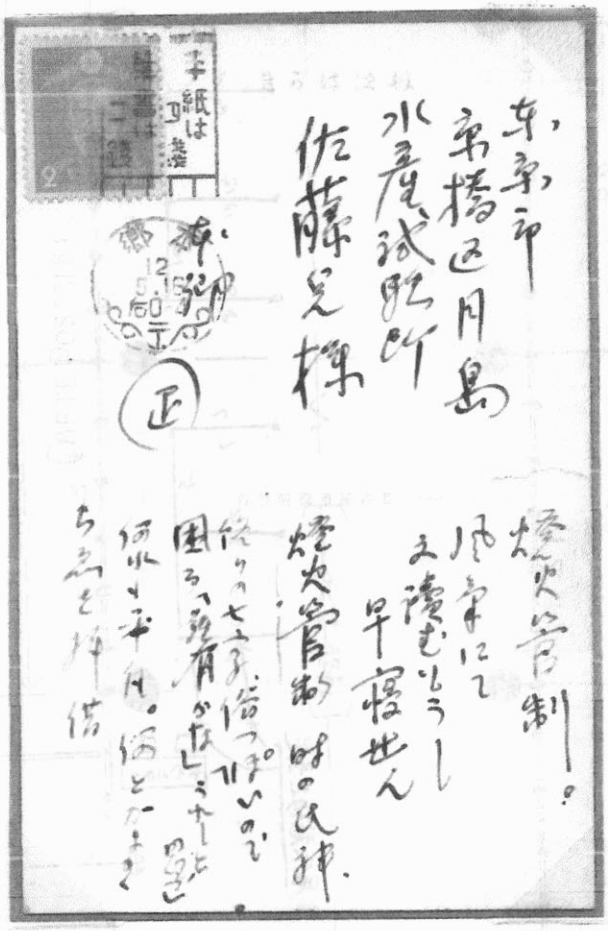
今日は／
興亜奉公日

奉祝／紀元／
二千／六百年

２銭（乃木）切手

初期使用はがき

昭和１２年５月１０日（１９３７）に発行。東京・横浜・名古屋・大阪・神戸・札幌・仙台の主要都市で発売され、郵趣家により初日カバーなどつくられているが、全国への配給は６月中旬以降になつている。このため、初期の郵便使用は発売地近郊のものが残つているが、数は少ない。



標語入り機械印
本郷１２、５、１６